

明石工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	情報基礎Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0032		科目区分		専門 / 必修		
授業形態	演習		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	建築学科		対象学年		2		
開設期	前期		週時間数		2		
教科書/教材	杉本くみ子他『情報リテラシーoffice2010』実教出版Obra Club『やさしく学ぶSketchUp』エクスナレッジ						
担当教員	荘所 直哉						
到達目標							
1. 情報倫理・セキュリティの必要性を理解し、それに基づいた判断・行動ができる。 2. 3次元モデリング・ソフトウェアを使った建築物の表現ができる。 3. 文書作成ソフトを使った文書作成ができる。 4. 表計算ソフトの基本的な操作が理解できる。 5. 表計算ソフトで基本的な関数の使い方が理解できる。 6. プレゼンテーションソフトを使った発表資料作成および発表ができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	情報倫理・セキュリティの必要性を的確に理解し、それに基づいた判断・行動ができる。		情報倫理・セキュリティの必要性を理解し、それに基づいた判断・行動ができる。		情報倫理・セキュリティの必要性を理解し、それに基づいた判断・行動ができない。		
評価項目2	3次元モデリング・ソフトウェアを使った建築物の表現が十分にできる。		3次元モデリング・ソフトウェアを使った建築物の表現ができる。		3次元モデリング・ソフトウェアを使った建築物の表現ができない。		
評価項目3	文書作成ソフトを使った文書作成が十分にできる。		文書作成ソフトを使った文書作成ができる。		文書作成ソフトを使った文書作成ができない。		
評価項目4	表計算ソフトの基本的な操作が十分にできる。		表計算ソフトの基本的な操作ができる。		表計算ソフトの基本的な操作ができない。		
評価項目5	表計算ソフトで基本的な関数の使い方が十分に理解できる。		表計算ソフトで基本的な関数の使い方が理解できる。		表計算ソフトで基本的な関数の使い方が理解できない。		
評価項目6	プレゼンテーションソフトを使った発表資料作成および発表が十分にできる。		プレゼンテーションソフトを使った発表資料作成および発表ができる。		プレゼンテーションソフトを使った発表資料作成および発表ができない。		
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 (D) 学習・教育到達度目標 (E)							
教育方法等							
概要	演習を通じて、基本的な情報リテラシーを身につける。						
授業の進め方・方法	テキストを用いた解説および演習を主とする。適宜演習課題を課す。						
注意点	自分でスキルアップに努めること。授業時間内に完成しなかった課題は、放課後等を利用して作成すること。課題書をよく読んで課題を作成し、提出〆切日を厳守すること。 合格の対象としない欠席条件(割合) 1/4以上の欠課						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	オリエンテーション		情報倫理・セキュリティの必要性を理解し、それに基づいた判断・行動ができる。		
		2週	google skechup(1)：課題1(3D画像の制作)		3次元モデリング・ソフトウェアを使った建築物の表現ができる。		
		3週	google skechup(2)：課題1(3D画像の制作)		3次元モデリング・ソフトウェアを使った建築物の表現ができる。		
		4週	google skechup(3)：課題1(3D画像の制作)		3次元モデリング・ソフトウェアを使った建築物の表現ができる。		
		5週	Word(1)：課題2-1(履歴書の作成)		文書作成ソフトを使った文書作成ができる。		
		6週	Word(2)：課題2-2(アンケート用紙の作成)		文書作成ソフトを使った文書作成ができる。		
		7週	Word(3)：課題2-2(アンケート用紙の作成)		文書作成ソフトを使った文書作成ができる。		
		8週	Word(4)：課題2-3(アンケートの実施)		文書作成ソフトを使った文書作成ができる。		
	2ndQ	9週	Excel(1)：課題3-1(カレンダーの作成)		表計算ソフトの基本的な操作が理解できる。		
		10週	Excel(2)：課題3-2(計算式を用いたデータ分析)		表計算ソフトで基本的な関数の使い方が理解できる。		
		11週	Excel(3)：課題3-3(アンケートの集計)		表計算ソフトで基本的な関数の使い方が理解できる。		
		12週	Excel(4)：課題3-3(アンケートの集計とグラフの作成)		表計算ソフトで基本的な関数の使い方が理解できる。		
		13週	Powerpoint(1)：課題4(発表用データの作成)		プレゼンテーションソフトを使った発表資料作成および発表ができる。		
		14週	Powerpoint(2)：発表会1		プレゼンテーションソフトを使った発表資料作成および発表ができる。		
		15週	Powerpoint(3)：発表会2		プレゼンテーションソフトを使った発表資料作成および発表ができる。		
		16週	期末試験				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	工学基礎	情報リテラシー	情報リテラシー	情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を活用できる。	2		
				論理演算と進数変換の仕組みを用いて基本的な演算ができる。	2		

				コンピュータのハードウェアに関する基礎的な知識を活用できる。	2	
				情報伝達システムやインターネットの基本的な仕組みを把握している。	2	
				同一の問題に対し、それを解決できる複数のアルゴリズムが存在しうることを知っている。	3	
				与えられた基本的な問題を解くための適切なアルゴリズムを構築することができる。	3	
				任意のプログラミング言語を用いて、構築したアルゴリズムを実装できる。	3	
				情報セキュリティの必要性および守るべき情報を認識している。	2	
				個人情報とプライバシー保護の考え方についての基本的な配慮ができる。	2	
				インターネット(SNSを含む)やコンピュータの利用における様々な脅威を認識している	2	
				インターネット(SNSを含む)やコンピュータの利用における様々な脅威に対して実践すべき対策を説明できる。	2	

評価割合								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	演習課題	合計
総合評価割合	20	10	0	10	0	0	60	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	20	10	0	10	0	0	60	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	0